

一般質問通告事項一覧表

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
1	木村 聖子	上水道施設整備：町民負担の軽減のため新たな仕組みづくりを	<p>本町の水道事業においては、リゾート地区の急激な水需要に対応するため、新比羅夫浄水場や配水池の整備が進められています。一方、市街地の老朽管による漏水率は全国平均を上回る約25%と、市街地水道施設の更新費用も課題です。</p> <p>冬期間の数ヶ月に発生する「瞬間的なピーク需要」に合わせて公的インフラを拡張し続けることは、将来的な維持管理費も含め、水道企業会計および町の財政にとって大きなリスクになります。通年で利用する一般住民と季節限定で過大な負荷をかける大規模事業者等との間で、負担と受益の公平性を担保していく視点が重要です。</p> <p>すべての需要を町の集約型インフラだけで賄うのではなく、事業者自身にもインフラ負荷を軽減する先導的な役割を担っていただくなど、持続可能な制度設計を考えていく必要があります。町長の見解をお伺いします。</p> <p>①大規模開発などで、現在の給水能力の限界を理由に、開発事業者に対して給水時期の延期や計画の縮小など、事実上の調整・要請を行った、あるいは受け入れが困難となった事例の有無について（ある場合は件数）</p> <p>②「ダウンサイジング」：財政負担を抑えるため、給水区域を縮小（インフラのダウンサイジング）する計画やビジョンについて</p> <p>③「分散型インフラ」：給水区域の縮小や新規給水の制限を行うにあたり、例えば民間企業の高度な浄水装置（地下水・河川水による）の導入を開発事業者に促す、あるいは行政が設置を補助するなど、「公費に頼らない分散型インフラ」の導入について</p> <p>④「ピークカット」受水槽の設置：夜間などの需要が低い時間帯に水を貯め、入浴などが集中するピーク時間帯には受水槽から給水することを義務付けするなど、水道管への瞬間的な負荷を軽減する「ピークカット」導入について</p>	町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
2	木村 俊一	自転車の町宣言	<p>昨年6月の定例会において、「自転車の町宣言」について質問いたしました。その際、町長からサイクルツーリズムに力を入れていきたいとの答弁がありましたが今年度予算を見る限り、自転車の予算が盛り込まれているようには見えません。</p> <p>そこで伺います。倶知安町としてサイクルツーリズムをどのように進めてきたのか、今後どのような方向性で取り組んでいく考えなのかをお聞かせください。</p> <p>先月、愛媛県今治市から広島県尾道市まで続く「しまなみ海道」をサイクリングしました。島々と橋を渡りながら4泊5日で約100キロをゆっくり走りましたが、日本国内はもちろん海外からも多くのサイクリストが訪れ、自転車利用者を優先する環境づくりが徹底され、道路には目的地や距離を示すブルーラインが整備されています。また、店舗や観光施設にはサイクルラックが設置され、宿泊施設では客室内に自転車を持ち込めるなど、サイクリスト向けの設備が充実していました。</p> <p>倶知安町は積雪寒冷地であり、除雪の関係からブルーラインの整備は難しい面もあると思いますが、商店街や公共施設へのサイクルラック設置、さらには宿泊施設への設備導入の提案など、取り組めることは多くあるのではないのでしょうか。</p> <p>民間では積極的な活動が進められています。YNCAは小樽開発建設部と連携し、ロードバイク向けのコース案内看板を設置しています。さらに、MTB分野ではNAMBAが双子山にトレイルコースを整備し、去年は約15,000人が利用しています。今年にはスキー場へのトレイルコース提案も行われており、来年には世界規模のダウンヒル大会の開催も予定されています。</p> <p>このように、民間は着実に取組を進めています。だからこそ今、町としてもサイクルツーリズムをどのように位置付け、どのような将来像を描いていくのかを示す時期に来ているのではないかと考えます。町長の考えをお聞かせください。</p>	町長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
3	坂井 美穂	認知症の早期発見・早期対応と聞こえの支援について	<p>1. 認知症は早期発見・早期対応で重篤化を防ぎ、治療的観点から認知機能の改善の可能性もあると言われている。 長寿高齢化社会が進む中、早期発見・早期対応に努めることが非常に重要である。早期発見を目指し「脳の健康チェック」等の支援を行っている自治体もある。 個人での受診のハードルを下げるために、本町として特定健診等と併せ認知症検診の導入を検討できないかを伺う。</p> <p>2. 現在、難聴の方の補聴器購入補助は、高度難聴者、重度難聴者に対して行われているが、加齢性難聴者に対しての支援はない。 難聴は家族や友人、地域とのコミュニケーションが取りづらく、認知症になるリスクを高めるとともに、フレイルが進行してしまうとも言われる。 自治体独自の助成制度が全国的に広がってきているなか、保険者機能強化推進交付金等を活用しての助成制度を検討していくことはできないか。 本町における今後の方向性や見解を伺う。</p>	町長	
4	坂井 美穂	単身高齢者の終活支援について	<p>高齢化の進展に伴い、未婚または単身の高齢者が増加傾向にあるといわれる。親族がいないもしくは遠方であったり、疎遠で頼れる人が周囲にいない人も増えている。 以下を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本町における単身高齢世帯の割合 2. 身元保証における支援体制の取組の現状 3. 不安を解消できる相談窓口の必要性 4. 「人生会議」の普及・啓発や終活の重要性を周知するセミナーの開催の取組や検討 	町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
5	小川 不朽	町民に愛される旭ヶ丘総合公園の再構築を旭ヶ丘総合公園のあり方検討会の検討状況は	<p>旭ヶ丘総合公園は1982年に基本構想が策定され、それを基に現在の公園として活用されてきている。</p> <p>時代の変化とともに町民ニーズの変化や環境の変化により、基本構想の見直しが必要として2022年7月、庁内に『旭ヶ丘総合公園のあり方検討会』が設置された。</p> <p>検討を始めてからすでに丸4年が経とうとしているが、本検討会の検討状況について伺う。</p>	町長	
6	小川 不朽	本町の民泊サービスの実態について	<p>健全な民泊サービスの普及を図るものとして平成29年に住宅宿泊事業法（民泊新法）が成立し、翌30年より施行され8年が経過する。</p> <p>以下について伺う。</p> <p>①本町における住宅宿泊事業を営む旨の届出件数は。</p> <p>②北海道及び町に対し苦情・通報などに関する問い合わせなどは寄せられているか。</p> <p>③北海道及び町は無届け・無許可営業や違法営業などに対する実態把握及び対策は行われているか。</p> <p>④民泊事業者は宿泊税特別徴収義務者に登録され、申告納付が行われているか。</p>	町長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
7	原田 芳男	俱知安町防災計画（原子力）の諸問題について	<p>防災計画について過去何回か質問したがいまだ解明されない点が多いことから重ねて質問する。</p> <p>1, 冬季の避難をどうするかが大きな課題です。観光客などの一時滞在者を入れると防災計画と現実が乖離しているのではと危惧されるが、どのように対処するのか。また、どのように現状を把握しているのか（車の台数、ピーク時の滞在人数、等）</p> <p>2, 町内とスキー場地区と別々の計画が必要では。</p> <p>3, 学校、保育所、農協などの公共的団体、病院、企業などの防災計画についての必要性の認識と実態把握。</p> <p>4, ヨウ素剤の配布場所は防災計画では9か所とされているが、町民への周知はどうしているのか。</p> <p>5, バスなどで避難するとしているが可能な計画なのか、認識を伺う。</p> <p>6, 原子力防災計画を現実に即した有効なものにする必要があるのでは（俱知安町独自の防災計画）。</p> <p>7, 風向きや交通状況などを勘案すると避難先が妥当なのか疑問に思うが、認識は。</p>	町長	
8	原田 芳男	中学校の給食費の無償化の実現を	<p>中学校の給食費の無償化については羊蹄山麓7町村の内4～5町村が実施しています。6月定例会初日の町長の行政報告によれば一般会計は歳入歳出の差引総額で5億1934万5千円の黒字となっています。</p> <p>中学校の給食費の無償化は2500万円ぐらいで実現可能と考えられることから、この財源を生かし実現すべきと考えます。</p> <p>物価の高騰など思慮するならば実現してしかるべきと考えるが、町長の答弁を求めます。</p>	町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
9	原田 芳男	小中学校のバスの使用 について	<p>スポーツ活動のために生じたレンタカーによる事故が大きな問題となっています。</p> <p>小中学校においてスポーツ活動をはじめ、様々な分野で児童生徒の移動のためにバスが利用されています。</p> <p>スポーツ少年団などでは少ない予算でのやりくりで運営されています。</p> <p>町として今後どのように取り組むのか、予算増も考えなければならないと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>答弁を求めます。</p>	教育長	
10	原田 芳男	八幡地区における大規模開発について	<p>八幡地区において1.7ヘクタールに及ぶ宅地造成計画が計画されています。これの住民説明会が6月19日に中小企業センターで予定されています。</p> <p>同じような事業計画が南6条でも協定を結ぶ形で進められています。</p> <p>今後、八幡における事業に町はどのように関わっていくのか明確にしてください。答弁を求めます。</p>	町長	
11	原田 芳男	廃棄PCの情報漏洩について	<p>報道によれば病院、北海道の廃棄PCのハードディスクドライブが適切な処理がなされず情報漏洩したと報じられている。</p> <p>倶知安町の廃棄PCについては大丈夫なのか答弁を求めます。</p>	町長	
12	古谷 眞司	空家等の環境整備について	<p>町内において夏場は住居者が無く、冬場に住居人が存在する家屋が多数見受けられる。また、郊外では崩壊した、または放置されたような家屋が存在します。現状の状況の把握と、課題を伺う。</p>	町長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
13	門田 淳	サン・スポーツランドの今後について	<p>①サン・スポーツランドは、行政と観光組織が一つのフロアで業務を行い、事務拠点として情報を共有し連携を密にして活用しているが、現状、不足している機能はありませんか。</p> <p>②第1, 第2駐車場の整備が進み、今後の必要な機能とは。</p> <p>③今後のサン・スポーツランドの構想や、あり方について。</p>	町長	
14	門田 淳	「交通空白」の解消について	<p>地域公共交通活性化法では、自治体を中心となり地域公共交通計画を策定し、持続可能な交通ネットワークの構築を進めることが可能となっています。本町においても、人口減少や高齢化の進展に伴い、地域交通の維持確保が大きな課題となっている。そこで、次の点について町長に伺います。</p> <p>①改正地域公共交通活性化法が可決されたが、それに基づく制度内容、現在の検討状況は。</p> <p>②今回の改正がこの地域の課題解決につながるのか。活用については。</p>	町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
15	唐澤 隆博	中学校部活動の地域展開と地元高校への部活動継続について	<p>今年度高野連春の大会において、倶知安高校野球部は小樽支部大会を勝ち抜き全道大会に出場し、全校応援の中、網走南ヶ丘高校との一回戦を見事に勝ち上がった。2回戦はこの大会の優勝校となった旭川志峯高校に5対3で惜敗した。また、高体連各種目大会においてもチームや個人がそれぞれ全道大会出場を決めている。倶知安高校はスキー部の全国大会出場など多くの優秀な選手を輩出している。以下について教育長に伺う。</p> <p>①野球部の選手は倶知安町や近隣町村出身者がほとんどである（倶知安13，共和2，京極ニセコ寿都函館1，留寿都2）。中学校部活動と高校部活動の連携を強化すべきと考える。部活動の地域展開とリンクした具体的施策の考えを伺う。</p> <p>②今年度春に部活動関係者会議を実施したと伺った。会議の内容と部活動の地域展開の進捗状況を伺う。</p> <p>③中学校の部活動指導は一部の部活動が地域スポーツクラブが担っていると聞いている。中学校の部活動について実態を伺う。</p> <p>④中学校での部活動の制限は平日の1日を部活停止、土日いずれかを部活停止、また休日の活動は3時間とする。また年間を通じて大会前など2回のみ土日連続を認める、となっていると聞いている。制限の緩和について考えを伺う。</p> <p>中体連や中文連など遠征の補助の増額や高校部活動については教育振興会費を増額し保護者負担を軽減する必要があると考えるが、見解を伺う。</p>	教育長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
16	唐澤 隆博	公民館の建て替えが急務	<p>6月6日土曜日、俱知安町公民館大ホールにおいて札幌交響楽団俱知安公演が満場の集客の中行われました。公演後、観客の方々は大きな感動と至福の表情で帰られていました。</p> <p>このような質の高い芸術文化を町民の皆様に味わっていただく機会が継続することが不可欠であります。昨年6月の私の一般質問で公民館の建て替えについて質問いたしましたが、この度の演奏会を踏まえ、公民館の建て替えが急務であると考えます。</p> <p>①ステージの環境整備が不十分である。ステージ袖のスペースが狭く奏者が待機できないこと、天井が低く照明器具が近いことためステージの温度が上昇する。反響板が機能していないなどステージの問題について、考えを伺う。(教育長)</p> <p>②外壁の経年劣化、客席の階段段差、座席の経年劣化、バリアフリーについての認識は。(教育長)</p> <p>③プール・絵本館・公民館・中央公園周辺施設を総合的な町民憩いの場とすることについて具体的に計画すべきであり、公民館建て替えの優先順位を上位にすべきと考えます。(教育長)</p> <p>④公民館建て替えに向けて財政シミュレーションの見直しをすべきと考えるが、町長の考えを伺う。(町長)</p>	町長 教育長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
17	早川 貴士	異地区違法開発への対応状況について	<p>昨年、羊蹄山麓の異地区において大規模な違法開発行為が確認され、本町は北海道と連携しながら対応を進めてきました。また、町は刑事告発に向けた関連予算を計上し、議会もこれを議決しております。本件について、問題の風化防止の観点から、以下について伺います。</p> <p>(1) 現在の対応状況について 北海道による原状回復命令後の対応状況及び事業者側の履行状況について、現在の進捗を伺います。</p> <p>(2) 北海道との連携について 本件に関し、町は北海道とどのような連携を行っているのか。周辺住民に対しての配慮規定があるがどのように考えているか。また、刑事告発を含む法的対応について北海道と協議を行っているのか伺います。</p> <p>(3) 国への制度改善要望について 本件を通じて明らかとなった制度上の課題について、国に対してどのような情報提供や制度改善要望を行っているのか、また予定があるのか伺います。</p> <p>(4) 刑事告発の検討状況について 昨年、町長から刑事告発を検討している旨の説明がありましたが、その現在の検討状況について伺います。また、告発の対象として想定しているのは、実際に施工を行った事業者なのか、それとも開発を主導した発注者や事業主体なのか、現時点での考え方を伺います。</p>	町長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
18	早川 貴士	住宅不足における居住誘導に向けた住宅政策について	<p>近年、本町においては共同住宅や宅地開発が継続的に行われている一方で、住宅価格や家賃の高騰、企業による借上げ需要の増加等により、定住を希望する住民の住宅確保が依然として困難な状況が続いている。また、本町は観光産業の発展に伴い人口流動が大きく、全国的にも特殊な住宅事情を抱えている地域である。このような状況においては、単に住宅供給量を増やすだけでなく、「誰が住む住宅なのか」という視点から、地域として望ましい居住形態を誘導していく政策も必要であると考え。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本町において、近年供給されている共同住宅等について、定住者向け、企業借上げ、季節雇用者向けなどの利用実態をどのように把握しているか。 2 本町の住宅問題について、定住を希望する住民や地域を支える人材に住宅が行き渡りにくい構造的課題があると認識しているか。 3 町有地の定期貸付や固定資産税の減免等のインセンティブを活用し、高齢者向け共同住宅、若年層向け住宅、多世代混住型住宅など、居住確保につながる住宅整備を民間事業者へ誘導する仕組みや、ある一定の条件を満たした企業の従業員へ家賃補助制度等の検討する考えはないか。 4 国において高齢者向け共同居住や多世代共生型住宅に関する制度検討が進められている中、本町においても将来的なモデル事業の活用を見据え、事前に調査研究を進める考えはないか。 	町長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
19	早川 貴士	公共工事における予算編成時の精度の向上について	<p>近年、公共工事を取り巻く環境は、人材不足や資材価格の高騰などにより厳しさを増しております。特に地域建設事業者は、道路、水道、下水道、除雪、災害対応など、住民生活を支える重要な役割を担っております。</p> <p>一方で、事業者からは、予算書に計上された事業費と実際の契約額との間に大きな乖離が生じる場合があり、経営計画や人員配置、設備投資の見通しを立てにくいとの声も聞かれるところであります。</p> <p>公共工事における適正な競争入札は当然確保されるべきものでありますが、地域インフラを支える事業者の持続的な経営環境を考えた場合、予算編成段階における事業費の精度向上も重要な視点であると考えます。</p> <p>そこで、以下について伺います。</p> <p>(1) 公共工事において、予算額と実際の契約額との間に大きな乖離が生じる要因をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 予算額と契約額の乖離が、地域事業者の経営判断や人材確保等に与える影響について、町の認識を伺う。</p> <p>(3) 地域事業者が将来の受注見通しを立てやすくするため、予算額だけでなく施工延長や施工規模など、より実態に即した情報提供についてどのように考えるか。</p> <p>(4) 予算編成段階における積算精度の向上及び、予算額と契約額の乖離要因の検証について、今後どのように取り組む考えか。</p>	町長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
20	早川 貴士	農地に隣接する防風林等の管理について	<p>農地に隣接する防風林や管理者が不明確な林について、枝葉が農地側へ張り出すことにより、日照不足、鳥獣被害の助長、強風時における枝の飛散、また、GPSを活用した農業機械の測位不良など、営農上の支障が生じているとの相談を受けている。</p> <p>また、防風林等の管理者へ対応を求めても、担当者が変わることで対応方針が変わり、継続的な改善につながらない事例もあると伺っております。農家個人が管理者や関係機関と個別に調整を続けるには限界があり、農業生産環境を守る観点からも、町が一定の調整機能を果たすことが重要であると考えます。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>① 町は、農地に隣接する防風林や林の管理不足により、日照不足、鳥獣被害、枝の飛散、GPS測位不良などの営農上の支障が生じている実態を把握しているのか。</p> <p>② 管理者が判明している防風林等について、町として関係機関や管理者に対し、継続的かつ適切な維持管理を求める考えはあるか。</p> <p>③ 管理者が不明確な箇所や、対応が進まない箇所について、町として実態把握や関係機関との調整を行う考えはあるか。</p> <p>④ 農業被害の軽減の観点から、町が実施可能な範囲で、下刈りや枝払い等の支援、または関係機関と連携した対応を検討する考えはあるか。</p>	町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
21	早川 貴士	変化に対応できるニセコひらふ地区におけるシンボル空間整備の視点について	<p>2025～2026年のニセコひらふ地区では、第2駐車場における配水池工場の影響もあり、例年以上に駐車場不足が顕在化したシーズンであったと認識している。第1駐車場周辺においては、以前より、歩行者と車両が同じ動線上に集中し、安全性の確保が課題となっている。加えて、地域のスキーヤーやスノーボーダーからは、朝の早い時間帯から満車となり、地元利用者が利用しづらい状況にあるとの声も聞いている。こうした状況を踏まえ、本町ではこれまで調査や検討を重ね、本年2月にはシンボル空間整備基本計画を策定し、ひらふ高原中央公園における駐車場整備が現在始まり、観光・交通拠点施設についてもPFI事業の公募が開始されていると認識している。</p> <p>一方で、3月定例会では、現在進められている平面駐車場整備について、「暫定的な整備であり、将来的に無駄になるのではないか」といった意見も見受けられた。しかし、ニセコひらふ地区においては、現在も開発は続いており、利用実態の変化に対応できる、幅を持たせた整備を進めていくことが極めて重要であると認識している。</p> <p>また、歩行者の安全確保やバス等の交通結節機能、公共駐車場の確保などについては、民間事業者が利益に反し、公共性を担保することは難しく、地域事業者からは「地域全体の利便性や公共性を確保するためには、町としても一定の役割を担いながら整備を進めていく必要がある」との声を多く聞いている。</p> <p>そこで以下について伺う。</p> <p>① 現在進めている平面駐車場整備について、シンボル空間整備全体の中での位置付けは。特に将来的な交通拠点施設や賑わい空間などの段階整備で、どのような役割を担うものなのか。</p> <p>② 民間投資が活発な地域において、町が安全性や利便性、公共性を確保しながら、公共駐車場やバス停を含めた交通基盤整備に関与する意義をどのように考えているのか。</p>	町長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
22	波方 真如	学校グラウンドの維持管理について	<p>近年、部活動の地域移行や児童生徒数の減少等により、学校グラウンドの利用頻度が著しく低下している。その結果、一部の学校では雑草の繁茂やグラウンド状態の悪化が見受けられ、学校間でも整備状況に差が生じている。(資料参照)</p> <p>グラウンドは、子どもたちが安全に活動するための重要な教育環境であり、利用頻度が減少したとしても適切な維持管理が求められる。また、初期段階での除草や整地を怠れば、将来的に大規模な改修や整備費用が必要となることも懸念される。</p> <p>そこで、学校グラウンドの維持管理体制について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 教育委員会と各学校の役割分担はどのようになっているのか。また、教育委員会として各学校の管理状況をどのように把握しているのか伺う。(教育長) 2, 除草や整地の実施回数、雑草の繁茂状況などに関する維持管理基準はあるのか。また、基準がない場合、今後策定する考えはあるのか。(教育長) 3, 各学校における整備用機材(チェーンハロー等車両で牽引できる機材)及び牽引車両の保有状況と活用状況はどのようになっているのか。また、不足している学校への支援をどのように考えているのか。(教育長) 4, グラウンドの除草や整地等に係る予算はどのように措置されているのか。また、現状の予算措置を十分と認識しているのか。さらに教育環境の維持や施設の長寿命化の観点から、維持管理予算の拡充を検討する考えはあるのか伺う。(町長) 	教育長 町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
23	波方 真如	蘭越倶知安道路の整備を見据えたまちづくり戦略について	<p>令和6年4月、一般国道5号蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安間・11.7km）が新規事業化され、令和8年3月には道路事業説明会が開催された。比羅夫IC（仮称）はひらふリゾートエリアに隣接して計画されており、開通後には新千歳空港からのアクセス向上など大きな効果が期待されている。</p> <p>一方で、交通量の増加や土地利用の変化など、本町のまちづくりにも大きな影響を与えることが予想される。そこで、以下3点について伺う。</p> <p>1、IC周辺には優良農地が広がっており、道路整備による農地の分断は営農継続に大きな影響を及ぼすことが懸念される。町として、分断農地への対応や営農継続に向けた支援についてどのように考えているのか。</p> <p>2、景観条例と連動した地区計画の策定や、パークアンドライド、物流拠点など将来の土地利用を見据えた道路構造上の配慮について、北海道開発局へ要望する考えがあるか。</p> <p>また、IC周辺の土地利用方針をどのようなスケジュールで示していく考えか伺う。</p> <p>3、自動運転・交通デジタル化への対応について</p> <p>デジタル庁は「モビリティ・ロードマップ2025」において、自動運転の社会実装と地域交通の統合的マネジメント体制の構築を重点施策として推進している。特に豪雪環境下での自動運転技術の確立は全国的な課題であり、本町は豪雪地帯であることに加え、国際リゾートを有し、多様な利用者が集まる一方で、比較的限定された移動ルートを持つことから、自動運転や交通DXの実証フィールドとして大きな可能性を有していると考えられる。</p> <p>町として、国が進める自動運転社会実装事業の活用や、民間事業者との連携についてどのように考えているのか伺う。また、宿泊税基金は観光地としての持続可能性を高めるための重要な財源でもありと考えるが、将来的な交通体系の再編や交通DXへの投資財源として活用する考えがあるか伺う。</p>	町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
24	藪中 聡史	ひらふ地区における公共空間整備と町民利益について	<p>ひらふ地区ではシンボル空間整備計画が進められています。 国際観光地としての魅力向上は重要である一方、多額の公共投資を伴う事業であることから、町民にとってどのような価値を生み出すのかを明確にすることが重要であると考えます。 地域住民と観光客の双方にとって意義のある公共空間整備の観点から伺います。</p> <p>① ひらふ第1駐車場周辺整備について、町民にとってどのような意義や効果を期待しているのか伺います。 ② 地域住民や子どもたちが日常的に利用できる機能や空間について、どのような検討が行われているか伺います。 ③ 今後の維持管理費や運営費を含めた費用対効果について、どのように評価しているか伺います。 ④ ウェルカムセンター機能の配置について、第1駐車場を選定した理由と他候補地の検討状況を伺います。</p>	町長	
25	藪中 聡史	観光消費の地域内経済循環と農業振興について	<p>本町は国際観光地として発展を続けていますが、その経済効果が地域内に十分循環し、農業振興や地域経済の安定につながっているかについては検証が必要であると考えます。 観光と農業の連携を強化し、「観光で稼ぎ、農業で支え、地域で回す」持続可能な地域循環モデルを構築する観点から伺います。</p> <p>① 町内の宿泊施設および飲食店における地元農産物の利用状況について、町としてどのように把握しているか伺います。 ② 地産地消を推進するため、現在実施している施策と今後の取組について伺います。 ③ 農業と観光を結ぶ新たな仕組みづくり（直送・加工連携・体験プログラム等）について、町長の見解を伺います。 ④ 地域内経済循環の効果を把握するための調査・分析について、今後どのように取り組む考えか伺います。</p>	町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
26	森 禎樹	町長の進退について	町長の任期も残すところ7か月ほどとなりました。 次期町長選挙に対する町長の考えを伺う。	町長	
27	森 禎樹	倶知安町自転車活用推進計画の活用について	2025年3月に策定した「倶知安町自転車活用推進計画」の活用状況について町長、教育長に伺う。 ①4つの目標について、それぞれ個別の実施内容（町長） ②小中学校における自転車走行の安全指導の実施状況（教育長）	町長 教育長	
28	森 禎樹	倶知安町読書環境整備計画について	本年4月に策定した「倶知安町読書環境整備計画・子ども読書活動推進計画（第二期）」について、教育長の見解を伺う。 ①読書環境整備計画は、実行性のある計画なのか。理念の実現、整備方針の遂行をするための体制はどのようなものか。 ②ハード面での読書環境整備計画はあるのか。 ③子ども読書活動推進計画の第一期計画の成果と、それを踏まえた第二期計画のポイントは。	教育長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
29	佐藤 英俊	ひらふ中央公園駐車場整備事業全般について	<p>ひらふスキー場町有地整備事業の一つ、中央公園駐車場整備事業の工事が始まりました。</p> <p>これからの工事の安全を願いつつ、以下の点を町長にお尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工事請負会社との工事着工前の打ち合わせはどのような内容で実施されたのか。 2. 公園内の樹木、植物の移植対象調査は実施していたのか。 3. 昨年12月定例会の質問「第一駐車場に簡易な建物を配置し、児童・生徒が優先的に利用できる休憩所を配置する考えはありませんか」の答弁は「代替えとしてサン・スポを利用されていました」。今一度質問します。中央公園駐車場に簡易休憩所を配置する考えはありませんか。 4. 簡易トイレの設置有無 	町長	
30	佐藤 英俊	ニセコひらふ地区シンボル空間整備運営事業全般について	<p>本町ホームページ(以下、単にHPとする)には、最も新しい整備事業(以下、単に事業という)に関連する、基本協定書、契約書(案)などが公開されています。</p> <p>参加を希望する企業の現地説明会なども終え、今後はタイムスケジュールに沿って進められていくと承知しています。</p> <p>HP内「新着・更新情報」に公開されている2026.6.8「前段階・・・契約書・協定書案を追加掲載しました」を開き、下にスクロールすると以前の作業内容の詳細が公開され、最も古い年月日は平成30年2月の作業内容となっています。町懸案の整備事業が本格スタートする訳ですが、予定されるPFI手法の概略程度の内容であっても、一体どれほどの住民が公開されている内容を理解することができるか甚だ疑問に感じています。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(30)	(佐藤 英俊)		<p>前頁より</p> <p>長期にわたる事業には多額の事業費も想定されます。町有地を活用する「本町の公共事業」である以上は、住民の福祉が第一義に掲げられた整備事業であるべきと考え、以下を町長にお尋ねします。</p> <p>なお、答弁は可能な限り平易な言葉、表現をお使いくださいますよう、お願いいたします。</p> <p>タイムスケジュールでは、整備事業に応募する企業がそれぞれのノウハウを提案し、本町で審査、選考決定に至ると思います。委員会の説明では、選考委員は非公開と説明いただいています。(事業者決定後には公開)</p> <p>「国内スキーリゾート地域において、PFI手法を採用した地域整備事業の有無について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、病院、上下水道などの事例は確認できたが、スキー場、レジャー関連を含む事例はあるのか。 <p>「選考委員に関して」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考委員はどのタイミングで選出されるのか。(応募前、応募締め切り後) ・選考委員と応募企業との利害関係調査方法。 <p>「事業が破綻した場合の債務処理」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管の委員会において説明では、運営全体の契約の中に銀行など金融機関も加わることで、本町の債務範囲は「合築」の区分所有範囲内と理解してよいか。 ・債権放棄は金融機関の判断で処理されるのか。 ・整備事業において本町の歳入と歳出はどのような形となるのか。 <p>次頁へ続く</p>		

令和8年 第2回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(30)	(佐藤 英俊)		<p>前頁より</p> <p>「一部土地の売却について」 ・所管委員会への説明資料に「ひらふ坂」沿いの町有地一部売却予定とありました。本町の「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例」の定めでは、土地の売り払いについては1件5,000平方メートル以上のものに限る、と定めています。</p> <p>この条例は昭和39年4月に定められており、現状との乖離が甚だ大きく、今後、上位法律との整合性を図り、土地の売り払い面積の縮小を検討し、条例の改正が必要と考えるが、町長の考えをお聞かせください。</p> <p>「整備事業を今、始める必要性について」 ひらふスキー場の歴史、経緯は割愛しますが、国内のスキー場においては、内閣府が公表しているいわゆるバブル期を1986年(S61年)12月から1991年(H3年)2月までの4年3カ月の51カ月間としています。バブル終焉後、国内スキー場は衰退が著しい状態になりましたが、ニセコは他スキー場と比較し、そのポテンシャルの高さを証明し、今日、国内外から多くの支持を得る結果となっています。</p> <p>訪れる旅客は、スキー場において滑る行為を最優先とし、そのことは町が考える整備事業への遅れが生じたとしても、気象条件に大きな変化がなければ、急激な変化はないと考えます。今の優先順位は、多くの住民が求めてやまない温浴施設などを優先すべき事業と考えます。</p> <p>また、事業整備は町が主体とならずとも、スキー場運営事業者が必要とする面積の町有地貸付などを行い、僅か実質2カ月半の期間不足としている駐車場整備の成果は得られると考えるが、町長の考えをお聞かせください。</p>		

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
31	笠原 啓仁	『公有地の売払い要件』 変更は可能ですか	<p>本町の「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の第3条では、公有地の売払いの要件についてつぎのように定めています。</p> <p>「地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決に付さなければならない財産の取得又は処分は、予定価格700万円以上の不動産又は動産の買入れ又は売払い(土地については1件5,000平方メートル以上のものに限る。)とする。」</p> <p>この条例で定められている土地の売払い要件の変更は可能ですか。</p>	町長	
32	笠原 啓仁	『じゃがたくの本格運行』 開始できない理由は	<p>郊外地域デマンドバス「じゃがたく」は、昨年度で5度目の実証運行を終えました。</p> <p>本格運行開始から今年で14年目となる「じゃがりん号」が実証に要したのは3年です。</p> <p>5度にわたる実証運行を経てもなお、「じゃがたく」が本格運行を開始できない最大の理由は何でしょうか。</p>	町長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
33	笠原 啓仁	『読書環境整備計画』 学校司書の位置付けは	<p>昨年12月議会で渡邊教育長は、学校司書について「新年度からの配置に向け準備を進めている」と述べました。子どもの読書環境の整備に向けた積極的な取組として、私は高く評価していました。</p> <p>しかし重要な取組であるにもかかわらず、学校司書の配置に関しては今年度の教育行政執行方針や先日の教育行政報告では触れられていませんでした。予定どおり学校司書は配置されたのでしょうか。</p> <p>そこで、以下の点について伺います。</p> <p>1. 司書の配置・活動状況について 資格をもった司書がどこにどのような形で配置され、どのような活動を行っているのでしょうか。</p> <p>2. 「読書環境整備計画・子ども読書活動計画」での司書の位置付けについて 学校司書の配置は、子どもの読書活動の推進と本町の読書環境整備に向け大きな一歩になると私は考えています。新たに策定された両計画では、学校司書がどのように位置付けられているのでしょうか。</p>	教育長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
34	笠原 啓仁	『義務教育学校の設置』 可能性はありますか	<p>本町での義務教育学校の可能性について前任の村井教育長は「4つの小学校と中学校が義務教育学校として統合した場合、1,200人ほどの大きな学校になってしまいますので、これもまた、なかなか運営が難しいという状況も生まれてくるというふうに考えているところです」と述べました（2023年3月定例議会）。</p> <p>一方、現職の渡邊教育長は適切な学校数について「3つではちょっと多いと。では、あとどれくらいにしたらいいかというところについては、これは結論を出すところは審議委員会で、いろいろな御意見を伺いながらしていかなければいけないと」と述べました（今年3月定例議会）。</p> <p>そこで、以下の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 義務教育学校に対する評価について（町長、教育長） 義務教育学校を設置する自治体が増えています。同校に対する町長、教育長の評価をお聞かせください。 2. 本町での設置の可能性について（教育長） 本町での適切な学校数について教育長は「審議会の答申しだい」とのお考えのようです。答申によっては義務教育学校設置という可能性もあるのでしょうか。見解をお聞かせください。 	町長 教育長	

令和8年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
35	笠原 啓仁	『新プール・絵本館』 利用しやすい運営を	<p>新プール・絵本館の運営に関し、町民から「質問書」が私に寄せられました(資料参照)。 「質問書」の内容を踏まえ、以下の点についてお尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定管理者制度の活用について 新プール・絵本館の運営については指定管理者制度を活用する方針のようです。同制度を活用するとの決定に至った経緯について、ご説明ください。 2. 指定管理者選定に向けた方針について 管理事業者を選定するに当たっての基本的な方針や考え方について、ご説明ください。 3. 管理事業者の選定方法について 事業者選定はプロポーザル方式で行うのでしょうか。行う場合は町民の傍聴は可能でしょうか。また、「質問書」にあるアンケートの提出は可能でしょうか。 4. 町民への情報開示について 「質問書」には「是非とも町民が使いやすい施設になるよう、今後とも必要な開示をし、素晴らしい総合施設になることを願っております」とあります。そのようにできますか。 	教育長	